

## 新「京地どり」の歯ごたえ調査のため剪断力価を測定

当センターでは、「京地どり生産・流通推進協議会」と連携して、発育のよい新「京地どり」の鶏種の組み合わせ（♂大型軍鶏×♀横斑プリマスロック）を決定し、昨年度には新「京地どり」に適した飼料エネルギー量とタンパク質量を決定しました。

この鶏種は従来の京地どりと比較して発育が早く、飼育期間の短縮による低コスト生産が期待できますが、出荷日齢が早くなることで京地どり特有の歯ごたえが無くなる心配がありました。そこで今回、飼育期間が従来（100日齢以上飼育）

より短い90日齢の鶏肉において歯ごたえの指標となる剪断力価※の測定を行ったところ、新「京地どり」は飼育期間を短縮しても、ブロイラーと比較して歯ごたえがあることが分かりました。

今後は飼料による特徴付けを目的として、地域で生産され利用可能な資材である飼料用米と竹粉を添加した飼料を給与し、食味調査を行いながら、新「京地どり」に適した飼料を決定します。

※ 剪断力価…肉片を噛み切る（剪断する）力の値

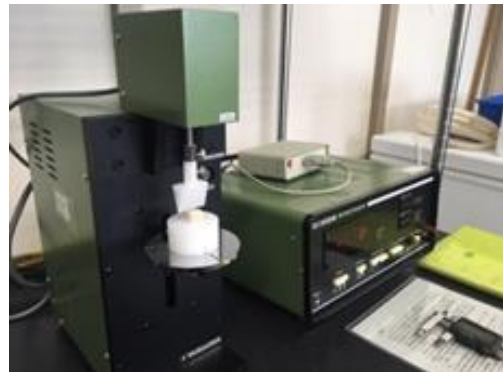
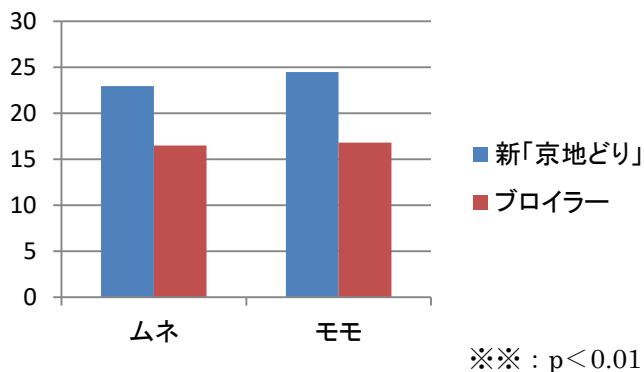


図. 90日齢新「京地どり」と市販ブロイラーの剪断力価 レオメーターによる剪断力価測定  
畜産センター

## 【管内情報】

### 牛用血液生化学分析装置の開発に協力

当センターでは、府内の医療用検査機器メーカーの依頼を受け、農家の庭先など野外で簡易に使用できる牛用の血液生化学分析装置の開発のために検体提供と測定に協力しています。

7月1日には装置の操作説明に用いる動画作成のためメーカーが来所され、牛舎での採血や測定の様子を撮影されました。

今後も畜産現場で役立つ技術開発に向け、フィールド試験に協力していきます。



尾からの採血の様子を撮影

畜産センター

### 有孔ラバーマットの牛床への利用で大学と症例共有

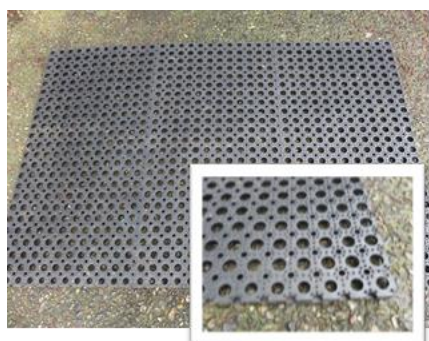
分娩前後の乳牛は血中カルシウム濃度の低下や胎子による神経の圧迫等で起立できなくなる場合があります。適切な治療とともに、起立しやすい床面にすることがその後の回復に大きく影響します。

今回、酪農学園大学獣医学類が床面の滑り防止のため新たな素材として提案している「有孔ラバーマット」\*を当センターの起立困難牛に使用したところ、起立時の体勢が改善される等の良好な結果が得られました。経過を大学に報告した

ところ、貴重な症例として記録動画やデータを共有し学術的に活用することとなりました。

今後も、大学等と連携し、新たな技術を当センターで実践・活用した成果を情報発信するとともに、酪農家に普及していきます。

※有孔ラバーマット：屋外の通路等の滑り止めに使用される柔らかく水はけのよいゴムマット。ホームセンターや資材通販で安価に購入可能。



使用した有孔ラバーマット



設置後、起立が改善した分娩牛

畜産センター